



埼玉の頂点に3大会連続で

輝いた女子高生棋士

とみかわまゆみ
富川麻有さん (16歳・下忍)

今月は、第48回全国高等学校将棋選手権埼玉県大会、第19回埼玉県高等学校将棋王位戦、第32回埼玉県高等学校将棋王将戦と3大会連続で優勝を果たした、県立大宮高等学校1年生の富川麻有さんを紹介しします。

将棋との出会いは、小学2年生のとき。父親に駒の動かし方やルールを教えてもらい、遊び感覚で始めました。小学3年生のときに、市内の将棋教室に週1回通うようになり、本格的に攻め方・守り方を教えてもらい、さらに、詰将棋の問題も宿題として出されました。すると、今まで函が立たなかった父親に、勝てるほどの実力が付いていたそうです。「父に勝てたときから、勝負にこだわるようになってきました」と富川さんは振り返ります。

将棋の醍醐味(だいごみ)が分かり始め、小学5年生のときに市内外のつわものが出場する行田市少年少女将棋大会に初めて出場。小学6年生のときに個人戦3位、中学1年生のときに準優勝を果たし、力を発揮していきましました。その



実力がかつてアマチュアチャンピオンであった小島一宏さん(日本将棋連盟埼玉県連会長)の目に留まり、全国中学生選抜将棋選手権埼玉県大会に出場するよう勧められたそうです。翌年、この大会に出場しましたが、結果は3位に終わり、あと一步のところまで全国大会への切符を手にすることができませんでした。「これ以上勝てないのかな」自分の実力に限界を感じたことから、一時将棋から離れることにしたのです。

高校入学後、部活動選抜のときに「やっぱり自分には将棋しかない」という思いから棋道部に入部。毎日の対局の中で、今まで通用していた攻め方・守り方が通用しなくなっていたことに将棋の奥深さを感じ、「もっと向上したい」という思いがわいてきたそうです。新鮮な気持ちで再び将棋に向き合い始めた富川さんは、高校生になって初めて出場した県大会で優勝し、全国大会に出場。その後出場した2つの県大会でも優勝し、県内最強の女子高生棋士となりました。それでも「全国では決勝トーナメントに進出できませんでしたから、まだまだです」と表情を引き締めます。

現在、2月に開催される全国高校新人大会に向けて、将棋漬けの日々を送っている富川さん。「前回出場した全国大会より、もっと良い成績を残したい。そして高校を卒業するまでに初段を取りたい」と笑顔で目標を語ります。将棋という勝負の世界に、青春を懸ける彼女の挑戦はまだ始まったばかりです。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

俳句

忍 丸山 連子

足袋蔵の塗り替えられし小春空

荒木 秋山 二郎

冬菜畑おちこちに立つ土竜除け

須加 藤野 治男

引き抜いて見れば大根脚線美

富士見町 森 節子

戴(いた)きし野菜に絡む枯れ落葉

富士見町 本間千代子

冬紅葉背を伸ばしつつ子と歩く

棚田町 財津ミチエ

里山に残る草屋根冬支度

荒木 高澤よね子

あざやかに彩どる紅葉バスの旅

城西 鈴木 正夫

城址に甲冑隊や文化の日

持田 丸山 麟一

忍城はのぼうの城や冬うらら

桜町 吉岡 守子

宵やみにのこり菊二つ白く咲く

前谷 町田 貞子

就職が決った孫を抱きしめて

城南 千代田富子

華の湯にのんびりつかる幸せかな

持田 二瓶 弘子

熟れし柿残りは鳥へ贈り物

忍 飯島 素子

足湯して一望山の紅葉かな

荒木 国島 初江

右ひだり深山紅葉上州路

(木島 斗川 監修)



「おもちつき」(アクリル画) 橋本 桃子 (下忍)



寺田 未詩ちゃん(中里)
父・定男さん 母・紘子さん
平成24年1月25日生まれ
「みんなのアイドル♪」



小山 玲奈ちゃん(持田)
父・勝さん 母・宏美さん
平成24年1月9日生まれ
「おにいちゃんと仲良くね♡」



横田 美琴ちゃん(長野)
父・純也さん 母・眞奈美さん
平成24年1月17日生まれ
「みんなから好かれる子に♡」



平塚 成実ちゃん(長野)
父・智之さん 母・美枝さん
平成24年1月23日生まれ
「大切な宝物」



小倉 来夢未ちゃん(持田)
父・優樹さん 母・早紀さん
平成24年1月29日生まれ
「我が家の王子さま♡」

平成24年3月生まれのお子さんを募集します

- 1月4日(金)~31日(休)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、2月4日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



さわやかサークル

子供バレエクラブ

～輝け☆小さなダンサーたち～



「曲の感情を全身で表現すること」を心掛けている皆さんは、明るい曲はとびきりの笑みを浮かべてのびのびと、クール

新たなスタートを切るそうです。 普段の練習では、長机を使ったバレエソンスやフロアでのステップ練習で体をほぐした後に、創作ダンスを行います。

リズム感、美的センスなどの芸術性も磨くことができます。

体の動きや音楽、衣装などで世界観を表現するバレエ。小さいころからバレエに親しむことで、すべての運動の基礎となる柔軟性が身に付くだけでなく、音感



な曲ではキレイのある動きを意識して踊ります。 練習の成果を披露する場合は、年に一度同公民館で開催される文化祭です。子供たちはこの日のために、ダンスの練習はもろもろのこと、保護者の皆さんと一緒に手作りした花のコサージュなど、かわいくておしゃれな衣装の作成にも熱が入ったそうです。「子どもが気軽にバレエを楽しめるのがいいですね」と保護者の皆さんもにっこり。

「学校のダンスの時間ではリーダーとして活躍しているよ」と目をきらきらと輝かせて自信いっぱい語る子供たち。このクラブのメンバーから、将来プロとして活躍するダンサーが現れるかもしれませんね。

▼問い合わせ 相原☎090-8845-13050